

おうちの方へ

小 / 算数 / 1年 / 数と計算 /
おうちの方へ / 理解シート

繰り下がりのあるひき算を、指を使って数えて 計算してしまうのですが



「いくつといくつ」など、計算の基礎から復習しましょう。

1

繰り下がりのあるひき算をするための、基礎学習をしましょう。

繰り下がりのあるひき算をするためには、「10は、いくつといくつ」や「いくつといくつ」といった、計算の基本に戻って、数の考え方を身につける必要があります。

この基礎の段階で、指折り数えて計算する習慣がついてしまうと、繰り下がりのある計算のように、大きい数の計算は、指の数がたりなくなって、計算ができなくなってしまいます。

また、簡単な計算はマル暗記してしまう1年生もいますが、桁が増えた計算になると、暗記することは、困難になり、やはり計算ができなくなります。

2

おはじきやブロックを使って、数のしくみを しっかり身につけましょう。

遠回りのように思えますが、「いくつといくつ」「ひきざん(1)」「20までのかず」などに戻って、数の取り扱い方を身につけてください。

数のイメージを養うには、おはじきの遊びが適しています。

例えば、「10個のおはじきの遊び」では、

- ① はじめに、10個のおはじきを見せて、個数を数えます。
- ② 10個のおはじきを両手で持ってかくして、2つに分けます。
- ③ ②の一方の手を開いて、その個数を数えます。
- ④ 開いていない方の手にかくされているおはじきの個数を当てます。
- ⑤ 数が合っているときは、手を開きます。

- ・おうちの方と1年生が、代わるがわる問題を出し合うと、楽しいゲームになります。
- ・はじめの個数を、3から10個の間で変えて遊んでみましょう。